

何が中国の経済発展をもたらしたのか。
本書は中国の奇跡的發展を「政府の主導」ではなく、「政府の退出」をキーワードとして説明する。
中国の發展は、政府が経済活動への関与をやめ、民間が経済的自由を取り戻していった結果なのである。
中国経済の發展と課題をわかりやすく説いた中国経済入門書。

岡本信広著
Nobuhiro Okamoto

中国 —奇跡的發展の「原則」—



アジア経済研究所

アジアを見る眼



中国—奇跡的發展の「原則」

岡本信広 著

アジア経済研究所



9784258051151

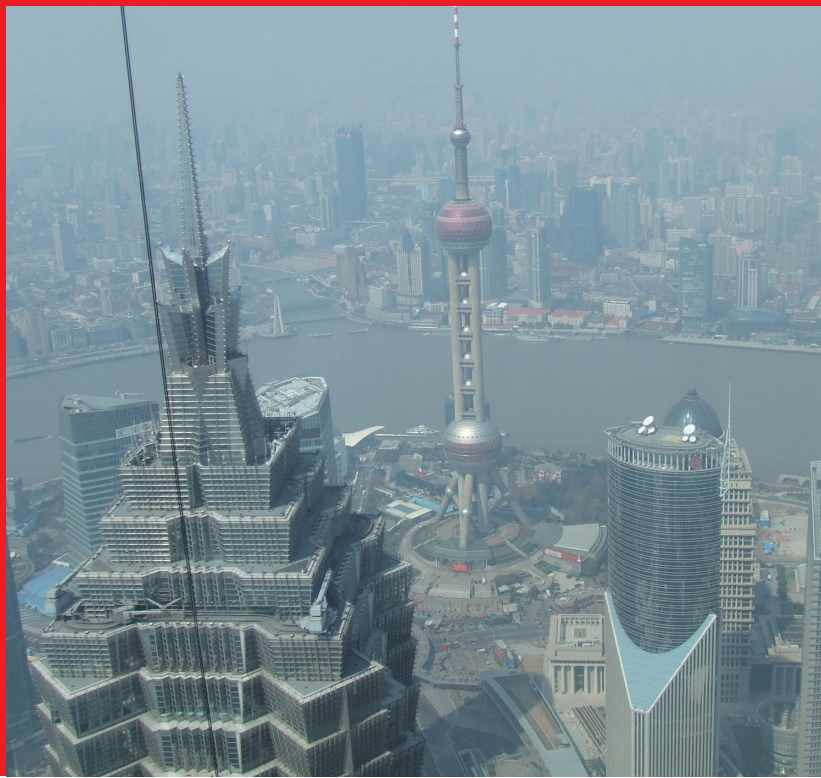


1921230012009

ISBN978-4-258-05115-1
C1230 ¥1200E

定価：本体1,200円+税

IDEJETRO



著者紹介

おかもとのぶひろ
岡本信広

1967年 徳島県生まれ
1993年 創価大学大学院経済学研究科博士前期課程修了
同年 アジア経済研究所（現独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所）入所
1997年～2000年 海外派遣員として中国人民大学国民経済管理系博士課程在籍
2000年 経済学博士号（中国人民大学）取得
2006年～現在 大東文化大学国際関係学部准教授

著作

『中国の地域経済—空間構造と相互依存』（単著，日本評論社，2012年）
『中国西南地域の發展戦略』（編著，日本貿易振興機構アジア経済研究所，2008年）
『中国経済の勃興とアジアの産業再編』（共編著，日本貿易振興機構アジア経済研究所，2007年）
Spatial Structure and Regional Development in China（共編著，Palgrave Macmillan，2005年）

〔カバー写真〕

表 古さと新しさが混在する大連
裏 高層ビルが立ち並ぶ上海

筆者撮影

中国—奇跡的發展の「原則」

岡本信広 著

何が中国の經濟發展をもたらしたのか。
本書は中国の奇跡的發展を「政府の主導」ではなく、「政府の退出」をキーワードとして説明する。
中国の發展は、政府が經濟活動への関与をやめ、民間が經濟的自由を取り戻していった結果なのである。
中国經濟の發展と課題をわかりやすく説いた中国經濟入門書。

アジアを見る眼 115

IDE-JETRO

ISBN978-4-258-05115-1 C1230

アジアを見る眼

115

中国—奇跡的發展の「原則」

岡本信広 著

アジア經濟研究所

アジアを見る眼

115

IDE-JETRO

岡本信広 著

何が中国の經濟發展をもたらしたのか。
本書は中国の奇跡的發展を「政府の主導」ではなく、「政府の退出」をキーワードとして説明する。
中国の發展は、政府が經濟活動への関与をやめ、民間が經濟的自由を取り戻していった結果なのである。
中国經濟の發展と課題をわかりやすく説いた中国經濟入門書。

岡本信広 著

中国—奇跡的發展の「原則」

アジア經濟研究所

岡本信広 著

中国—奇跡的發展の「原則」

目次

第一章 中国経済をどのように理解するか？

- 1 「政府の退出」過程としての中国経済 ————— 2
- 2 中国経済の理解の仕方 ————— 5
- 3 モデル化する ————— 11
- 4 中国経済の多面性 ————— 18
- 5 「共産主義」は重要ではない ————— 31

第二章 社会主義市場経済モデル

- 1 共産党政府の成立 ————— 36
- 2 計画経済体制へ ————— 38
- 3 改革開放以降の体制移行 ————— 43
- 4 社会主義市場経済体制へ ————— 50
- 5 政府の攻防 ————— 56

第三章 経済発展モデル

- 1 発展に必要な資本 60
- 2 重工業化路線 61
- 3 資本蓄積メカニズム 68
- 4 新しい経済発展モデル 73
- 5 発展と政府 83

第四章 移行経済モデル

- 1 移行経済とは 90
- 2 所有制の多様化 92
- 3 請負制度の導入 99
- 4 所有制の改革 106
- 5 政府の退出と再参入 113

第五章 開放経済モデル

- 1 閉鎖経済と政府 | 118
- 2 自力更生路線から開放政策へ | 120
- 3 経済統合と中国 | 128
- 4 人民元 | 139
- 5 開放経済と政府の役割 | 145

第六章 持続的成長モデル

- 1 経済発展の持続には政府が必要か？ | 152
- 2 農民工問題 | 156
- 3 地域格差 | 164
- 4 資源環境 | 176
- 5 成長課題に対する政府の役割 | 186

第七章 中国経済の独自モデル

- 1 政府関与の分野 | 190
- 2 戸籍制度 | 193
- 3 一人っ子政策 | 198
- 4 一党独裁 | 208
- 5 最後の砦 | 217

第八章 市場経済化と政府の攻防

- 1 「政府の退出」 | 224
- 2 発展、移行、開放 | 226
- 3 市場経済化と政府の攻防 | 230
- 4 中国モデル再論 | 234

参考文献リスト

著者略歴

おかもとのぶひろ

岡本信広

1967年 徳島県生まれ

1993年 創価大学大学院経済学研究科博士前期課程修了

同年 アジア経済研究所（現独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所）入所

1997年～2000年 海外派遣員として中国人民大学国民経済管理系博士課程在籍

2000年 経済学博士号（中国人民大学）取得

2006年～現在 大東文化大学国際関係学部准教授

著作

『中国の地域経済－空間構造と相互依存』（単著，日本評論社，2012年）

『中国西南地域の発展戦略』（編著，日本貿易振興機構アジア経済研究所，2008年）

『中国経済の勃興とアジアの産業再編』（共編著，日本貿易振興機構アジア経済研究所，2007年）

Spatial Structure and Regional Development in China（共編著，Palgrave Macmillan，2005年）

中国—奇跡的發展の「原則」

アジアを見る眼115

2013年3月6日発行

定価：本体1200円＋税

著者 おかもとのぶひろ
岡本信広

発行所 アジア経済研究所

独立行政法人日本貿易振興機構

千葉市美浜区若葉3丁目2番2 〒261-8545

研究支援部

電話 043(299)9735（販売）

FAX 043(299)9736（販売）

E-mail syuppan@ide.go.jp

<http://www.ide.go.jp>

印刷 康印刷株式会社

落丁・乱丁本はお取り替えいたします

無断転載を禁ず

©日本貿易振興機構アジア経済研究所 2013

ISBN978-4-258-05115-1

地中海から太平洋まで、この広くアジアと呼ばれる地帯には幾十かの国がある。その大部分は第二次世界大戦以後、古い植民地体制から脱して新興の独立国となったものである。世界の人口の半ば以上のものがここにある。これらの新興国はそれぞれの立場に立つて、建国創業の仕事に力をつくしている。

その業は果たして障害なく着々と進んでおるか。だれもがこれに対して頭をかき上げるであろう。そしてだれもがアジアは「流動的である」という。

流動的とは何であるか。また何でないか。いくたの混みいった事態のなかを、一本の金の線が生々発展的に縫っているのも流動的である。経済は着々と成長し、政治は一つの体制のなかで徐々に整備されているような場合がそれである。

アジア諸国の大部分については、事態はこのように簡単ではない。もちろん、経済の場面には大きな発展・成長の芽生えはある。しかし、他面においてそれを抑制するものが力づよい。またおよそ発展や成長を考える場合、在来流行の理解によるパターンを以つてするのが果たして正しいか、との疑問もでてくる。さらに政治体制については、イデオロギーの対立、複合民族国家における特殊なナショナリズムに伴う民族や種族間の闘争があつて、政治的安定はなかなか期すべくもない。独立国家の幼年期に伴う政治的、行政的未熟もまた考えられるべき大きな原因である。

こういう次第で、アジアが流動的であるとは、一つの混沌を意味するものといえようか。そしてその上に立つていかなる経済・社会・政治の体制が整いだされるであろうか。——この意味で二〇世紀後半のアジアは世界における「問題」、いな最もおおきな「問題」である。

アジア経済研究所は、まさにこの「問題」の理解に向かつて、ひたすら前進をつづけている。われわれの期するところは、まさにそれぞれの国の現実に即した精確な知識を供しよう、そしてこの大きな「問題」について静かなサービスをいたそうとするに尽きる。設立以来すでに七か年あまり、専らそういう道を歩んできたし、今後もそれには変わりはない。このシリーズは、多くの研究や調査の報告書、現地調査を土台として、アジアについての解説書・教養書たることを目標とするものである。

一九六六年三月

アジア経済研究所 東畑精一

- | | | | | | | | |
|--|---|---|---|--|---|---|--|
| 106 | 105 | 104 | 103 | 102 | 101 | 100 | 99 |
| テヘラン商売往来
イラン商人の世界 | アジアの人口
クローバル化の波の中で | ガーナ 混乱と希望の国 | 中国の石油と天然ガス | スラウエシだより
地方から見た激動のインドネシア | 北京からの「熱点追跡」
現代中国政治の見方 | イエメンものづくし
モノを通してみる文化と社会 | アジア通貨危機と金融危機から学ぶ
國宗浩三 著 |
| 岩崎葉子 著 | 早瀬保子 著 | 高根 務 著 | 神原 達 著 | 松井和久 著 | 佐々木智弘 著 | 佐藤 寛 著 | |
| 一〇年にわたる調査で覗いたイラン商人の世界。客あしらいや義理人情など、商売の極意を彼ら自身の言葉で綴る。宗教や政治の本では決して読めない生身のイランが見えてくる。二〇〇四年七月刊 一四〇〇〇円＋税 | 多産多死から少子高齢化、児童労働と都市化、エイズ・SARSの拡大と国際労働移動など、多様なアジアの人口問題を考察し、その将来を展望する。二〇〇四年三月刊 一四〇〇〇円＋税 | カカオの産地として有名な、西アフリカの国、ガーナ。この国の豊かな文化と歴史を辿り、そして私たちと同時代を生きるガーナのくらしを、等身大の視点で描く。二〇〇三年一月刊 一一〇〇〇円＋税 | 三〇年間中国の石油産業を調査してきた著者が、改革と発展を続ける石油、天然ガス産業の現状と将来を見通し、需要増大で大石油輸入国となる中国の石油安定確保政策をも論じる。二〇〇二年二月刊 一四〇〇〇円＋税 | スハルト政権崩壊前後の五年間をスラウエシ島で暮らした筆者が、激動のインドネシアを地方からの視点で捉えた臨場感あふれる観察記録。二〇〇二年三月刊 一四〇〇〇円＋税 | 共産党による一党支配はどのように維持されているのか北京大学、政治改革、日中間係、中国共産党の四つの舞台から、答えを探る。二〇〇一年一月刊 一四〇〇〇円＋税 | 日本とは気候も歴史も文化も言語も異なる「アラブの田舎」イエメン。そこで暮らしていると出会う奇妙なモノの数々、そんなモノどもの背景をのぞくことでイエメンの文化と社会を理解しようとする、地域研究者のフィールドノート。二〇〇一年三月刊 一四〇〇〇円＋税 | アジア通貨危機のメカニズムを解説し、その原因についての諸説を検討する。IMFの対応の問題点や、現在アジア諸国で進みつつある企業や銀行の再建についても考察する。二〇〇一年三月刊 一四〇〇〇円＋税 |

107 貧困削減と世界銀行

9月11日米国多発テロ後の大変化

朽木昭文 著

二〇〇一年九月十一日米国同時多発テロが開発のあり方にも影響し、貧困削減が地球的な課題となった。本書は、世界銀行の貧困削減戦略を示し、筆者の成長戦略を提案する。二〇〇四年九月刊 一〇〇〇円十税

108 石油大国ロシアの復活

木村真澄 著

石油生産の回復とともに力強さを取り戻しつつあるロシア経済。サウジアラビアと並ぶ世界最大の産油国であるロシアの石油について、その特質を分析し、今後の方向を展望する。二〇〇五年三月刊 一四〇〇円十税

109 ロシア資源産業の『内部』

塩原俊彦 著

世界的な関心を集めるロシアの石油・ガス産業を、政治との関係をはじめ企業集団ごとに詳細に分析した力作。二〇〇六年一〇月刊 九八〇円十税

110 社会主義後のウズベキスタン

変わる国と揺れる人々の心

ティムール・ダダバエフ 著

ソ連邦と社会主義という制度が崩壊した後、人々はそのような理想や夢を抱き、悩みを抱えているのか。国家、社会、そして家族に対する考え方はどのように変化したのだろうか。二〇〇八年六月刊 九八〇円十税

111 貧困国への援助再考

ニカラグア草の根援助からの教訓

加賀美充洋 著

日本のODAは役に立ち、我が国の国際的な立場を強化しているのか。少額でも成果の高い「草の根・人間の安全保障無償資金協力」をニカラグアでの豊富な具体例と写真で解説する。二〇〇九年一月刊 九八〇円十税

112 インド 児童労働の地をゆく

田部 昇 著

インドの手織りカーペット、宝飾品、伝統的染織品の生産現場には学校にも通わずに働く幼い子ども達の姿がある。九〇年代に行ったフィールド調査に基づきインドにおける児童労働の実態を報告し、開発論の視点から「いま、なぜ児童労働か」を問う。二〇一〇年二月刊 一四〇〇円十税

113 ビオレンシアの政治社会史

若き国コロンビアの「悪魔払い」

寺澤辰磨 著

「世界屈指の危険な国」「麻薬、誘拐、殺人の国」などマイナスイメージがつきまとうコロンビア。大使として三年間を当地で暮らした筆者が、政治史、社会史の両面からコロンビアの真実の姿を説き明かしていく。二〇一一年一月刊 一五〇〇円十税

114 新しいASEAN

地域共同体とアジアの中心性を目指して

山影 進 編

一九六七年の設立から現在までの歴史を辿るとともに、どこに向かおうとしているのか？ASEANを多面的に展望する「変わりつつあるASEAN」の解説書。二〇一二年二月刊 一二〇〇円十税